

事業計画書

事業名	へだのシェアハウス「5071」（仮称）整備事業
実施場所	沼津市戸田 410-6
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2022年 11月 1日 ～ 2023年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

戸田地区にて、移住を希望しつつも決断に踏み切れない移住希望者を対象に、トライアルで移住体験を提供する施設を整備し、戸田地区への移住もしくは空き家の購入を検討する足掛かりとなるサービスを提供します。1階ではコミュニティスペースを設置して移住希望者と地域住民との交流の場を整備し、2階に移住希望者向けのシェアハウス型賃貸住居を整備します。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

美しい景観や海の色、山々の緑と人々の温かさ。好条件が揃った戸田地区へは、少なくない移住したいの声が集まっています。しかしながら、戸田地区は賃貸物件や中古物件の情報が少なく、移住を考える方、空き家の購入に前向きな方の大きなハードルの1つとなっています。そこで、地域おこし協力隊としての活動の中で得た空き家の情報や戸田地区での暮らしを提供しつつ、シェアハウスを通じて戸田生活を実体験してもらい、移住や空き家購入へのハードルを少しでも低くすることにより、現在地域の問題となっている高齢化、空き家問題の解決へと繋げていきます。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
2022年8月	事業用物件の入手
2022年9月～	事業用物件の清掃、施設改修設計
2022年12月～	改装工事開始
2023年1月	改装工事完了
2023年2月	備品購入・設置
2023年3月1日	事業開始

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。 現在まで、中長期的に訪問者を受け入れるシェアハウス型賃貸住居が戸田地区には少ないため、移住を検討している方のみならず、中長期で戸田地区に滞在したいと考えている来客層の利用も取り込むことが可能です。また、1階のコミュニティスペースを情報発信と交流の場として開放することにより、地域住民と来訪者間での交流を促進し、より深く戸田の魅力を知ってもらえる機会を創出することを目指します。</p>		
<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 1回の賃貸で3~6か月の滞在を想定し、年間6~7人（もしくは組）の利用を目標とする</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。 指標の検証方法 シェアハウスを利用した人の10~20%が移住もしくは戸田地区で定職に就くことに繋げる</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意欲や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 戸田地区への移住検討、空き家購入を検討の需要があるにも関わらず、現在まで受け入れる体制が整っているとは言い難い。そこで、まずは気軽に戸田地区やそこで生活を短期から中期で体験してもらえ体制を整え、滞在者には戸田で居住した際にライフスタイルがイメージしやすいように、現地にいくつかの体験プログラムをガイドンとして実施します。（農業体験、漁業体験、地域住民との食事会など）</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の現状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 戸田地区の空き家問題は、高齢化に伴いこの先も継続、増加していく問題であるため、本事業は空き家活用及び移住人口増の事例の一端を担うことが出来る。移住交流人口が増加することにより、地域内での消費行動を始めとした地域経済の活性化にも繋がる。また、リノベーションの実施にあたっては、環境に配慮し戸田の間伐材を積極的に利用することで、海のイメージの戸田地区ですが、山の資源も素晴らしいということのPRも出来る。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 戸田地区におけるシェアハウス事業は少ないですが存在しますが、トライアル移住をメインに、地域おこし協力隊として活動した3年間で得た戸田の暮らしについてや空き家情報などを提供できるシェアハウスは他には無い特色の1つとなります。並びに1階をコミュニティスペースとして開放することにより、地域住民と来訪者の深い交流の場の提供も今までにない試みです。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。 シェアハウス型賃貸住居としての事業は、今後増えていく空き家問題を考えると、将来的には本事業だけでは賅えなくなることも考えられます。その為、第二第三のシェアハウスが必要となる場合には、本事業を通して得た運営ノウハウを展開することで、他業者が参入しやすくなる環境を整備します。今後の事業実施に当たり、戸田エリアの宿泊施設や飲食施設などの地域事業者と連携して本事業の周知を図ります。（Tagore Harbor Hostel、Archipelago Roastery、Uminoa、calmbaseHeda など）</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令遵守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 事業の実現のために、施設は空き家をリノベーションして活用し、初期費用を抑えます。本ファンド以外にも、自己資金や地域おこし協力隊起業支援金などを利用して施設のリノベーションを行います。</p>

活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>戸田地区を盛り上げるべく、地域おこし協力隊としての活動に従事してきましたが、空き家問題はかなり根深いものでした。この問題を解決するために、自分はどのように貢献できるかを考え、拠点を構えて空き家問題に向き合おうと地域おこし協力隊に就任してからも空き家実態について調査を継続して来て、今回のシェアハウス事業を実施するのに適切な物件を入手しました。</p>
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。